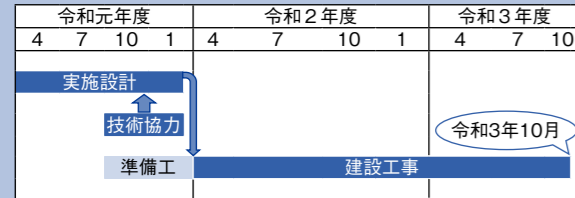


【事業費・スケジュール】

新総合体育館建設事業の総事業費は38億6,500万円で、備品は別途1億5,000万円を見込んでいます。財源には国の交付金や旧合併特別事業債等を充てています。

3月16日に起工式を行い、その後本格的な工事に着手します。令和3年10月の竣工を目指して工事を進めています。



＜実施設計＞
大建・I-A・T・I-安曇野市新総合体育館建設設計共同企業体
請負額：7690万4640円

＜建設工事・技術協力業務＞
竹中・守谷特定建設工事共同企業体
請負額：34億6664万2300円（工事） 440万円（技術協力）

防災機能

体育館には、非常用発電機、受水槽などを設置します。メインアリーナと柔剣道場は災害時には一定期間避難生活を行う事のできる指定避難所となります。サブアリーナは支援物資の集配所の機能を有します。

また、防災倉庫には簡易組み立てトイレ等を備蓄する予定です。

技術協力業務

技術協力業務とは、実施設計段階から施工者が参画し、施工者の技術力とノウハウを設計内容に反映させるものです。コスト管理や品質確保等の面において施工者の意見を取り入れることにより、施工段階での手戻り等のリスクが低減できます。

技術協力業務の一例として、バーチャルモデル等を用いた特徴的な波型の屋根鉄骨トラスの施工性チェックや、雨水流体シミュレーションを用いた波型の屋根形状と排水計画の最適化について検討を行いました。

新総合体育館の完成イメージを動画でチェック！

新総合体育館の完成イメージを動画で確認できます。今回掲載できなかった部分も見ることができますのでぜひご覧ください。



<http://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/1300/58841.html>

パース③ ロビー・展望ひろば イメージ

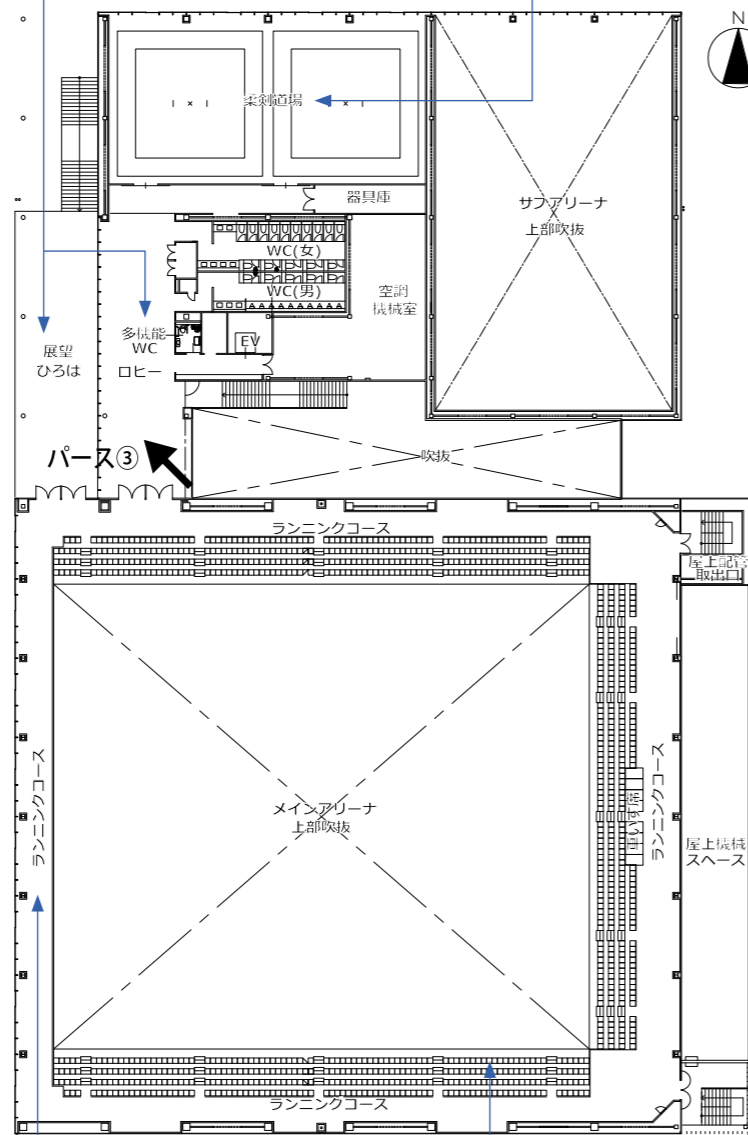


ロビー・展望ひろば

サッシを開けることで一体的なスペースとなります。天気の良い日には北アルプスの眺望もよく、開放的なスペースです。

柔剣道場

柔道2面または剣道2面での利用が可能です。床はフローリングでその上に畳を敷いて利用します。



ランニングコース

幅約2m、1周約200mです。安全に配慮し、コース上に視線を遮るものがないよう計画しました。

観客席

西面を除いた3面にあり、車いす用(8席)を含め計1004席あります。

幼児体育室

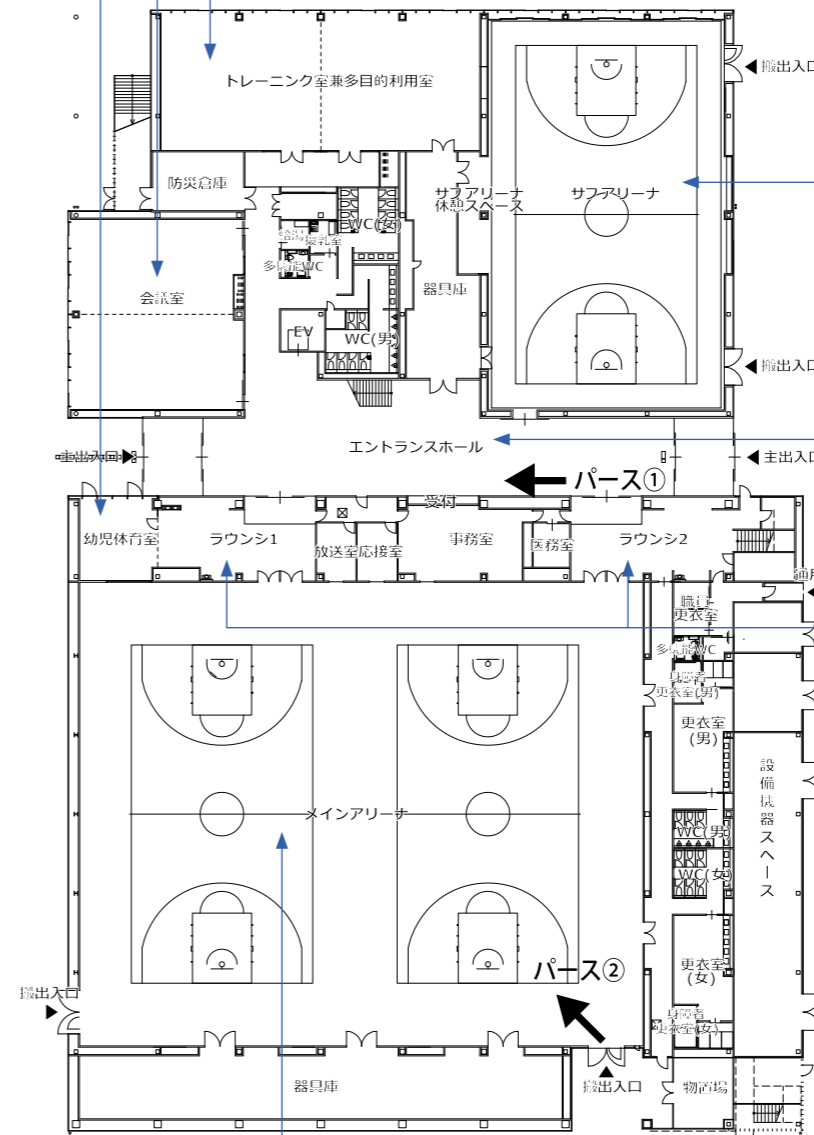
小さな子どもが屋内で遊べるスペースです。メインアリーナに面する壁がガラス張りになっているため、スポーツをしながらでも目の届く範囲で遊ばせることができます。

会議室

中央の可動式間仕切りにより2分割での利用も可能です。会議などで利用できるプロジェクター用スクリーンも備えています。

トレーニングルーム兼多目的利用室

壁面に鏡を設け、ダンス等での利用が可能です。中央の可動間仕切りにより2分割での利用も可能です。



メインアリーナ

バスケットボール公式2面、バレーボール公式2面、(ローカル3面)、バドミントン公式10面、卓球公式12面、フットサル公式1面(ローカル2面)での利用が可能です。床材にはスポーツ用長尺塩ビシートを用いています。日常のメンテナンスが容易で、スライディング時の摩擦火傷の軽減や、フローリング(床板)の剥離による負傷事故の危険性がないといったメリットがあります。天井は黒系色とし競技を行う際のボール等の視認性を考慮しました。空調完備により、夏場の熱中症対策、冬場の寒さによるケガの防止等に配慮しました。

サブアリーナ

バスケットボール公式1面、バレーボール公式1面、バドミントン公式3面、卓球公式4面での利用が可能です。

西側には休憩スペースを設け、床材にはメインアリーナと同じスポーツ用長尺塩ビシートを用いています。空調も完備しました。



パース① エントランスホールイメージ

エントランスホール

市民の交流の場となるよう、ゆとりのある広さを確保し休憩スペースや一時的なイベントスペースとしても活用できます。

ラウンジ1・2

メインアリーナ北側に2カ所設け、休憩所として利用できます。幼児体育室との仕切りは可動式のため、取り払うことで大会時の本部としてなどの利用も可能です。



パース② メインアリーナイメージ